

公開シンポジウム「野生動物と共に生きる未来—持続可能な野生動物管理システムの構築をめざして」の開催について

1. 主 催：日本学術会議課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」
2. 共 催：兵庫県、兵庫県立大学（全て予定）
3. 後 援：環境省、農林水産省、文部科学省（全て予定）
4. 日 時：平成31年2月9日（土）：13：00～16：30（12：00受付開始）
5. 場 所：兵庫県公館 大会議室（〒650-8567 神戸市中央区下山手通4丁目4番1号）
6. 委員会等の開催：開催予定
7. 開催趣旨：日本では世界に先駆けて人口減少・高齢化が進んでいる。大都市圏への人口集中も相まって地方の人口縮小が急速に進む一方、ニホンジカやイノシシなど野生動物の個体群増加と分布拡大によって人間活動との軋轢が生じている。農林水産業、生態系、生活環境などへの被害を防ぎながら、野生動物を地域資源として持続可能な方法で利用しつつ共存していくことは、社会的な重要課題の1つとなっている。そのためには、科学的な野生動物管理システムの構築が欠かせない。日本学術会議では、環境省自然環境局の審議要請を受けて、課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」を設置し、野生動物管理をめぐる問題を多様な学術の視点から分析し、野生動物の科学的な管理システムのあり方について具体的な検討を行ってきた。シンポジウムでは、これまでの審議で明らかになった課題およびそれにもとづく提案の骨子を紹介すると共に、この問題に関心を寄せる多様な主体の間での活発な意見交換を通じて情報共有をめざす。
8. 次 第：
 - 13：00 開会の挨拶：
（主催者挨拶）
山極 壽一（日本学術会議会長、京都大学総長）
井戸 敏三（兵庫県知事）
（来賓挨拶）
鳥居 敏夫（環境省大臣官房審議官）
 - 13：15 趣旨説明：
「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」の審議

と提案の骨子

鷺谷 いづみ（日本学術会議連携会員、中央大学理工学部人間総合理工学科教授、人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会委員長）

13:35-14:50 講演：

13:35 野生動物管理学からみた現状と課題：日本型管理システムの構築に向けて
梶 光一（日本学術会議特任連携会員、東京農工大学大学院教授、人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会副委員長）

14:00 兵庫県における野生動物管理システム：
横山 真弓（日本学術会議特任連携会員、兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授、人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会幹事）

14:25 市町村レベルでの野生動物管理の実践：
山端 直人（兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授・兵庫県森林動物センター主任研究員）

14:50-15:05 休憩

15:05-16:05 リレートーク&討論：「科学的野生動物管理へ：学術からの展望」
日本学術会議第一部・第二部・第三部の会員1～2名ずつ5～6名程度よりそれぞれの研究分野からの展望・提言など
コーディネータ
湯本 貴和（日本学術会議特任連携会員、京都大学霊長類研究所・教授）

16:05-16:15 コメント

林 良博（国立科学博物館館長/兵庫県森林動物研究センター研究統括監）

16:15 閉会の挨拶：
鷺谷 いづみ（日本学術会議連携会員、中央大学理工学部人間総合理工学科教授、人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会委員長）

（下線の講演者等は、主催委員会委員。リレートーク&討論の登壇者は11月頃決定する。）